

DRT25C:

包装・食品加工機械向け万能センサ

再設定は要りません。

検出物の変化に柔軟に対応します。



拡散反射式でありながら、形状や表面の性質に依存せず、シンプルにあらゆる対象を検出するダイナミックリファレンス機構が最大の特徴です。例えば平面、開口、光沢物や透明物など、センサにとって悩ましい現状に革新を提供します。

センサを超えるセンサ、驚くべきパフォーマンス

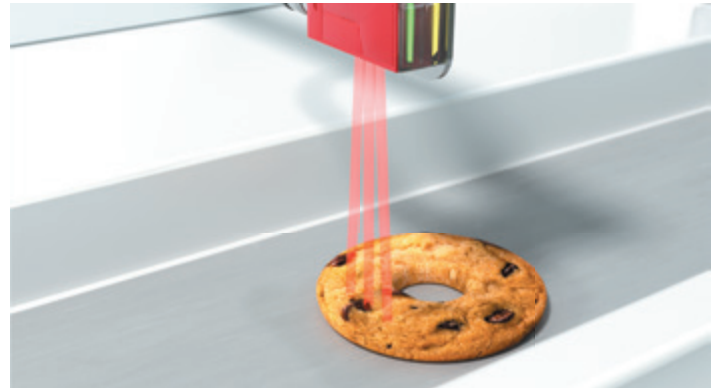
- 機械の処理速度を飛躍的に高め、ダウンタイムを削減する万能の検出能力。平面や開口部などの形状の違いから、光沢や透明などの性質の違いまであらゆる場面に対応します。
- 検出対象の変更や、動作仕様が変更されたとき、センサを再設定する必要がありません。安心してあらゆる現場に設置できます。
- ティーチングは1回、コンベアベルトを対象に行います。ボタン1つを押すだけで完了です。
- ベルトや機械の振動、搬送物によるシミや汚れなどの変化に対しても検出の確実性を損ないません。
- IO-LINKを搭載し、最新の操作性に追従。警告信号やティーチボタンを無効化する信号をインターフェース経由で入力できます。

検出動作範囲 (ベルトまでの距離)	50 to 200 mm
スイッチング周波数	750 Hz
最小検出可能寸法	5 mm (at 2 m/s)
セッティング	Tティーチボタン、リモート、IO-Link
IO-Link オペレーションモード	デュアルチャンネル、SIO
本体寸法	15 x 42.7 x 30 mm
認証	IP 67, IP 69K, ECOLAB

あらゆる形状の検出

包装ラインの溶着加工制御を精確に行うためには、コンベアベルト上の製品の先端を確実に検出する必要があります。誤検知による機械の停止を防ぐため、平らな薄物から高さのある大型品までを確実にセンサで検出する必要があります。さらに、もしも対象ごとに複雑な調整が必要となれば、結果として操作間違いなどから同様の問題を引き起こすこともあるでしょう。

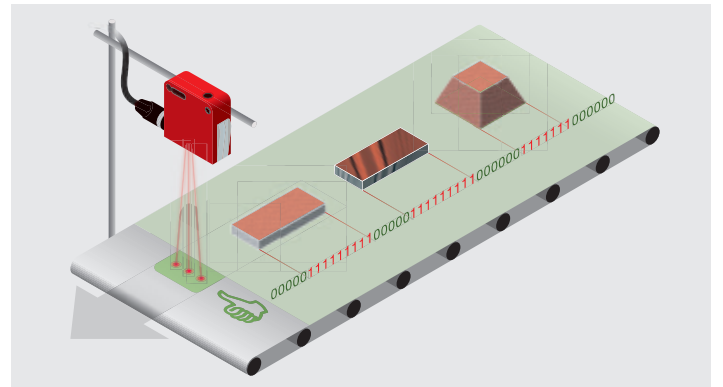
DRT25Cがこの課題を解決します。小さなものから大きなもの、平らなものから球状や不規則な形状の製品であっても、その性質に囚われることなく確実に検出します。安心感を得るだけでなく、同時に1台のセンサであらゆるアプリケーションに対応できることによる利便性の向上も意味します。ティーチに必要なボタンは1つだけ。シンプルで誰でも簡単に使える理想を追求してデザインされました。



あらゆる包装の検出

搬送間隔の制御をトラブルフリーで行うためには、多様な素材からなる、それぞれ異なった表面性質を持つパッケージの先端を確実に検出できなければなりません。また、包装素材のデザイン変更などで、追加再調整が必要では機械使用者や設計者の負担が大きくなります。

DRT25Cの最大の特徴の一つは、包装物でなく、コンベアベルトの表面を対象にティーチすることにあります。これにより、色、光沢、透明性などの包装素材の持つ表面特性に影響されることがありません。同時に、対象製品が刷新されても、再設定が不要であることがわかります。



唯一無二のCATテクノロジー

DRT25Cはティーチングに際し、コンベアベルトの性質を対象にします。ティーチボタンでベルト表面の特性を記憶させることで、ベルトと異なる性質を持ったモノを搬送物として確実に検出します。加えて、コントラストアダプション（対照順化）機能を備えています。これはベルト上のコンタミなど、継続した使用からなる汚れを、汚れと認識することができる機能です。結果としてベルトの性質の変化にも柔軟に対応し、誤検知を防ぐことができます。

1回きりのクイックセットアップ

初期設定を行うとコンベアベルトの表面はティーチボタンにより参照点として認識されます。送る製品仕様を変更したとしても、参照点は同様に引き継がれるので再設定の必要がありません。加えて、センサの取付位置やアライメントなどのハード側の調整も行う必要がありません。これまで、搬送製品が変わる度に行っていた調整の必要は、もうありません。

